第３章
総合戦略の
施策

第３章　総合戦略の施策

基本目標１　自然のエナジー活用を

目指す将来の姿

◉住民や企業の取組みにより、CO2 排出の削減が進み、地球環境にやさしいまちを形成しています。

◉　「環境モデル都市」の取組みが発展し、環境、社会、経済の真価が創造されて、まちの活力が高まっています。

◉御嵩町の一大産業を支えた鉄道が町民の足として維持され、関連する公共交通の利用促進が進むとともに、環境に配慮して自動車に頼りすぎずに自転車や徒歩で移動している住民が増えています。

※環境モデル都市

・「環境未来都市」構想の基盤を支える低炭素都市

・温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする都市・地域

※環境未来都市

・環境、社会、経済の三側面に優れた、より高いレベルの持続可能な都市

・環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心に新たな価値を創造する都市

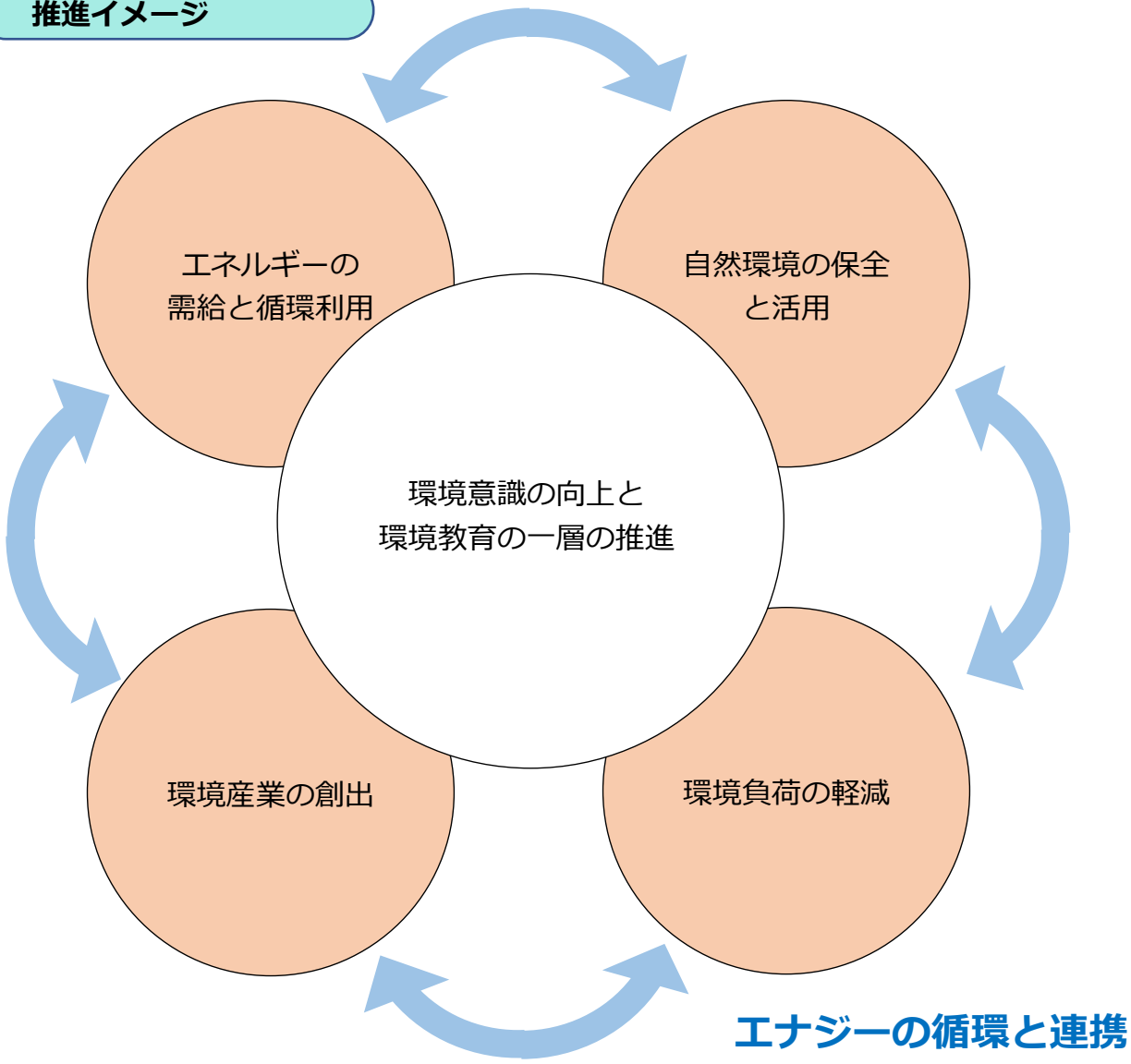
◇数値目標

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
CO_2の削減量	－	－	20,217 t	38,881 t
環境モデル都市の認知度	－	－	65.9%	65.9%

◇ＳＤＧｓの推進

◉持続可能な開発のための教育を推進します。
◉再生可能エネルギーの導入を促進します。
◉環境産業の展開により持続可能な産業化を促進します。
◉森林を保全して温室効果ガスの吸収力を高めます。
◉森林と山地生態系の保全と、持続可能な森林経営を進めます。

推進イメージ



施策１　エネルギーの需給と循環利用

◇ＫＰＩ

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
太陽光発電設置世帯数	350 世帯	650 世帯	480 世帯	780 世帯
名鉄広見線（新可児～御嵩間）延べ利用者数	―	―	896,043 ｶｳﾝﾄ	898,000 ｶｳﾝﾄ
公共交通（自主運行バス）の利用者数	25,923 人	26,000 人	24,069 人	25,000 人
レンタサイクル利用者数	279 人	418 人	142 人	213 人

◇施策の方向

エネルギーの「地産地消」の取組みを進めるために公共施設や住宅への太陽光発電、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を進め、災害時においてもエネルギー確保が可能になるようにしくみづくりを進めます。

また、住民の移動手段として環境にやさしい公共交通や自転車、徒歩での移動の促進を図り、観光客など来訪者にも利用を促します。

◇主な施策

施策１　再生可能エネルギーを活用した拠点づくりと支え合いのしくみづくり		
事業１	公共施設等への再生可能エネルギー等導入事業	公共施設や住宅への太陽光発電や燃料電池など、再生可能エネルギーの導入を推進します。
事業２	災害時における地域支援条件付き太陽光発電設備設置支援事業	災害時における近隣への電気の融通という「共助」の約束を条件に、太陽光発電設備の設置を支援します。
施策２　木材を活用した再生可能エネルギーの普及促進		
事　業	薪ストーブ推進事業	薪ストーブの導入により「木材の地産地消」による利用を推進します。
施策３　過度に自動車に頼らないための移動の利便性の向上		
事業１	公共交通ネットワークの形成、利用促進事業	町内各地と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワーク形成による利便性の向上のほか、各種利用促進施策を展開します。
事業２	ノーマイカーデー運動推進事業	自動車の利用を控える日を設けて、自動車による CO2 排出の削減を促進します。

その他主な事業 ・次世代自動車等の普及促進事業 ・レンタサイクル活用事業

施策２　自然環境の保全と活用

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
地域住民による里山保全活動参加者数	－	－	265 人	400 人
企業との協働による森林づくり協定を締結した森林面積	20.0ha	40ha	40.4ha	40.4ha
森林経営計画樹立面積	－	－	462.0ha	562.0ha

◇施策の方向

民間企業や住民ボランテイアなど、多様な主体と連携・協働して、さまざまな資源の供給源たる森林の保全を進めます。

森林ボランティア「水土里隊」や中学生、高校生との協働による森林保全の取組みを充実するとともに、まちぐるみで森林の持続性を高めます。

◇主な施策

施策１　地域住民による森林保全活動の推進と普及啓発		
事　業	企業や森林ボランティアによる森づくり事業	企業や森林ボランティアと協働して、森林の持つ機能の発揮を促進させるとともに、林業体験や間伐材を利用した環境教育などを通じて多様な主体に森林保全の大切さを伝えます。
施策２　森林の適正な維持管理の推進		
事　業	森林活用に関する意向調査事業	森林所有者に森林の管理に関する調査を行い、森林管理の集約化を図ります。
施策３　持続可能な森林経営の強化と拡大		
事　業	森林経営信託拡張事業	森林経営信託による森林整備面積の拡大と、周辺の民有林における森林整備の促進を図ります。
その他主な事業 ・学校と連携した多様な実験林形成事業 ・不適正開発防止事業　　・御嵩町名木等認定事業		

施策３　環境意識の向上と環境教育の一層の推進

◇ＫＰＩ

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
環境学習講座の参加人数	－	500 人以上	663 人	1,000 人
一般廃棄物生活系可燃物に占めるプラスチック製容器包装収集量の割合	－	－	3.1 %	4.0 %

◇施策の方向

豊かな森林環境などを活かしてまちぐるみでの環境保全活動を促進するため、子どもや高齢者を含め幅広い世代において環境モデル都市を進める人づくりを進めます。

森林をフィールドとし、木育や環境教育を展開するとともに、家庭や地域での取組みや他地域との取組みを進めながら、環境保全について学び行動することを促します。

◆主な施策

施策１　豊かな自然環境やごみの減量に対する理解の促進		
事業１	ぎふ・みたけの木育推進事業	木材を使用したおもちゃや遊具づくりなどを通じて、木や森林の大切さなどの「学び」を推進します。
事業２	地域におけるごみの減量啓発事業	学校や地域の交流施設などにおいてごみの減量やリサイクルの方法等について幅広い世代に対し啓発します。
施策２　地域が主体となった環境教育活動の推進		
事　業	森林活用に関する意向調査事業	森林所有者に森林の管理に関する調査を行い、森林管理の集約化を図ります。

その他主な事業

・生ごみたい肥化促進事業　　・ICT 活用による環境教育推進事業

・向こう三軒両隣節電チャレンジ省エネ活動推進事業

・環境アートの創作展開事業

基本目標２　安心でワクワクするきずなを

目指す将来の姿

◉妊娠、出産からの子育て支援や教育が切れ目なく提供されており、子育て世代が安心して定住しています。
◉防災対策が進むとともに、地域における自助、共助が進み、住民が支え合い、安心して暮らし続けています。

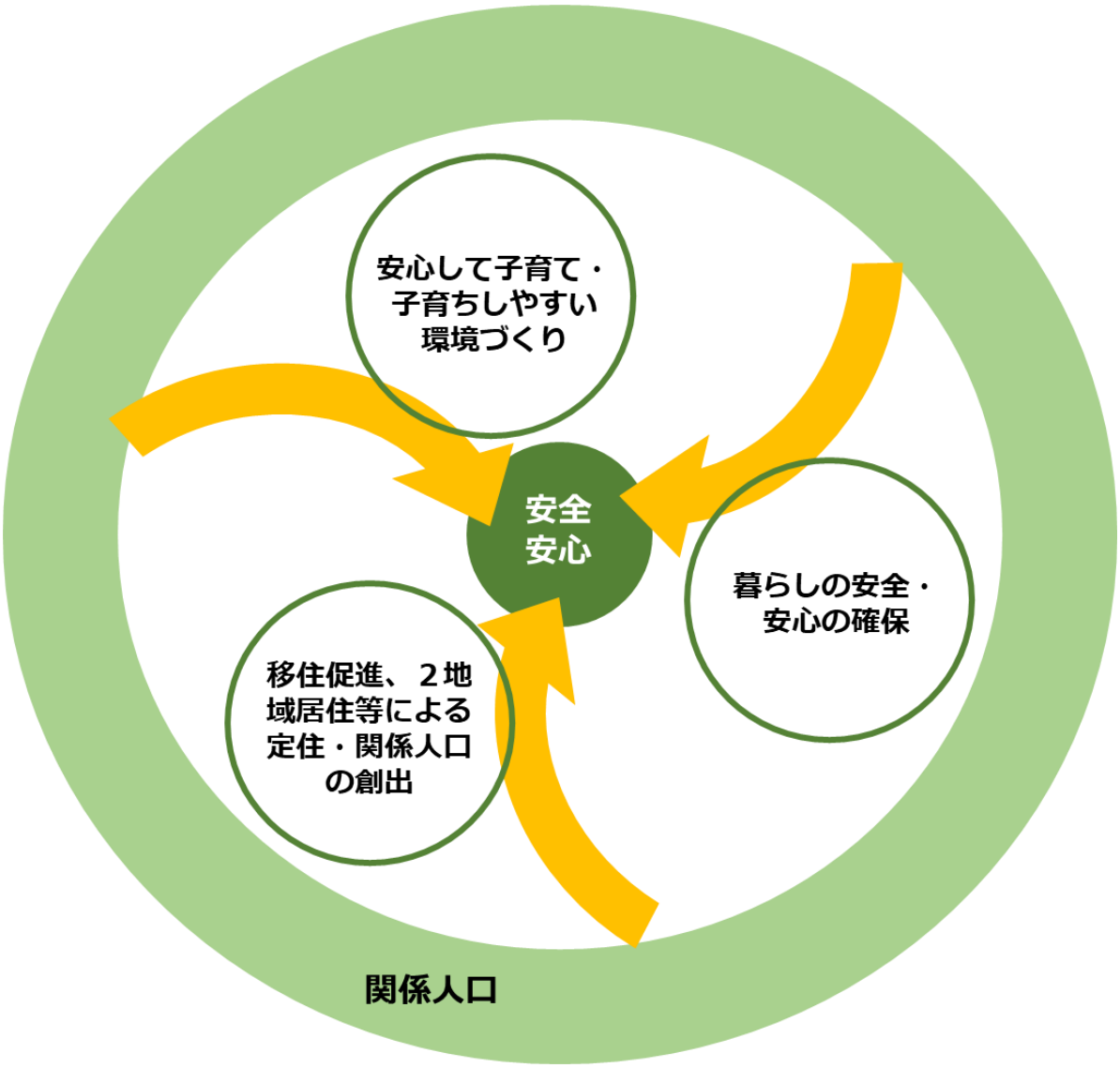
◇数値目標

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
御嵩町は「住みよい」と感じる町民の割合	58.5%	60.0%	55.6%	60.0%
子育て環境や支援への満足度	未就学児3.1点 小学生保護者2.9点	3.5 点	未就学児3.1点 小学生保護者2.9点	3.5 点
防災体制への満足度	12.3%	15.0%	20.4%	23.0%

◇ＳＤＧｓの推進

◉ワーク・ライフ・バランスを促進して、家庭や地域における子育て支援を進めます。
◉人々に安全で包括的かつ利用が可能な公共スペース等を提供します。
◉自然災害に対する強靭性や能力を適応強化します。

推進イメージ


安心して子育て・
子育ちしやすい
環境づくり
安全
安心
暮らしの安全・
安心の確保
移住促進、２地
域居住等による
定住・関係人口
の創出
関係人口

施策１　安心して子育て・子育ちしやすい環境づくり

◇ＫＰＩ

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
保育園待機児童数	０人	０人	０人	０人
１歳６か月～３歳の子どもの朝食欠食者の割合	－	－	4.3%	０％

◇施策の方向

御嵩町で子どもを安心して生み育てることができ、住み続けられるように、妊娠・出産・子育てにわたる切れ目ない支援と、多様な子育て支援ニーズへ対応することができるサービスや環境を整えます。

また、子どもを持つ家庭が定住地として御嵩町を選択し、子どもがたくましく生き、豊かな人間性を養うことができるような教育を地域とともに進めます。

◇主な施策

施策１　「切れ目ない支援」の充実		
事　業	子育て世代包括支援事業	保健師、保育士等の専門スタッフによる相談対応や関係機関との連絡調整など、妊娠期から子育て期及びその先を見据えた支援を行うため、子育て世代包括支援センターを設置します。
施策２　多様な保育の充実		
事　業	保育の充実促進事業	一時預かり保育や休日保育、病児保育など、ニーズに応じた多様な保育を進めます。
施策３　子どもや子育て家庭をみんなで見守り育む環境づくり		
事　業	青少年の健全育成事業	「青少年育成会議」において可児警察署等と連携し、青少年健全育成や非行防止活動を展開します。
施策４　「食」の大切さを広める食育の推進		
事　業	地域ぐるみの食育推進事業	保育園や幼稚園、学校、企業などとの連携、情報共有を通じて、全町的に食育を推進します。
その他主な事業 ・（仮称）中保育園・中児童館整備事業　・IoT を活用した教育推進事業 ・ファミリー・サポート・センター充実事業　・子育て短期支援事業 ・家庭教育学級事業　・ワーク・ライフ・バランス推進事業		

施策２　移住促進、２地域居住等による定住・関係人口の創出

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
移住交流・子育て支援ポータルサイトアクセス数	－	月 3,000 人以上	3,618 人	月 4,000 人以上
東京圏からの移住就業者数	－	１人	―	５人
空き家バンク登録物件の成約数	－	－	15 件	35 件

◇施策の方向

良質で健康的な住まい確保を支援して、御嵩町の自然豊かな暮らしや人々の暖かい〝きずな〟の中でライフスタイルの実現を目指す人々の移住・定住を図ります。

このため、住民が誇りと愛着（シビック・プライド）を高めるとともに、都市部の人々や御嵩町に縁がある人々などに対し、住まいや居住環境、雇用機会、生活サービス、可能なライフスタイル等について十分に情報を提供しながらシティ・プロモーションを展開します。

◇主な施策

施策１　移住・定住の促進		
事　業	移住交流・子育て支援ポータルサイトブラッシュアップ事業	空き家バンクや移住交流に関する情報、子育て支援に関する情報、仕事、町内企業についての情報などを包括しているポータルサイトのよりいっそうの充実を図ります。
施策２　空き家対策の推進		
事　業	空き家家財道具当処分費補助事業	空き家に残存する家財道具の処分にかかる費用を補助し、空き家の利活用を進めます。
施策３　「みたけを愛する人」「みたけに関わりたい人」の創出		
事　業	みたけの魅力発信事業	御嵩町の歴史文化や自然、近況、取組みなどについて積極的に情報発信するとともに、情報発信の輪を広げて、来訪や活躍の機会を提供します。
その他主な事業 ・東京圏からの移住就業支援事業 ・クラウドファンディング支援事業 ・クラウドファンディング型ふるさと納税推進事業		

施策３　暮らしの安全・安心の確保

◇ＫＰＩ

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
防災リーダー数	93 人	200 人	193 人	250 人
人口当たりの認知症サポーターの割合	–	–	6.3 %	9.0 %
みたけ健康ポイント応募者の 20 歳以上の人口に占める割合	–	–	7.7 %	10.0 %

◇施策の方向

大規模地震や水害にも安全な強靭なまちづくりを進めるために、亜炭鉱廃坑防災対策を着実に進めるとともに、防災拠点・交流拠点となる新庁舎の整備、地域における防災体制を充実します。

また、高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安心して暮らし続けることができるよう、地域における支え合いの充実と、健康づくり、高齢者などの活躍の場づくりを進めます。

◇主な施策

施策１　安心・安全な庁舎建設の推進			
	事　業	新庁舎等整備事業	災害時に指令機能を十分に発揮し、防災情報ネットワークが充実した安心で安全な庁舎を整備します。
施策２　亜炭鉱廃坑対策・防災対策の推進			
	事　業	南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業	国により措置された本事業に基づき、計画的に防災工事を進めます。
施策３　地域防災人材の育成			
	事　業	地域における防災人材の育成推進事業	消防団員の確保を図るとともに、防災リーダーの養成講座や地域住民主体の防災訓練の実施等により、防災人材の育成に努めます。
施策４　医療・福祉の連携と町民の健康増進			
	事　業	みたけ健康ポイント事業	各種健診や健康づくりのための教室への参加に応じてポイントを付与することで、町民の健康増進活動への参加を促します。
その他主な事業 ・特定鉱害復旧事業　　・耐震化推進事業 ・公共施設等適正維持管理事業			

基本目標３　挑戦のバイタリティーを

目指す将来の姿

◉新産業・新分野に挑戦する企業や若者の起業が盛んになっており、農業、工業、商業・サービス業や観光業等が雇用の機会を増やしています。
◉高等学校においてキャリア教育が充実し、御嵩町で働くことの魅力が高校生や若者に理解されて、町内に就職する学生が増加しています。

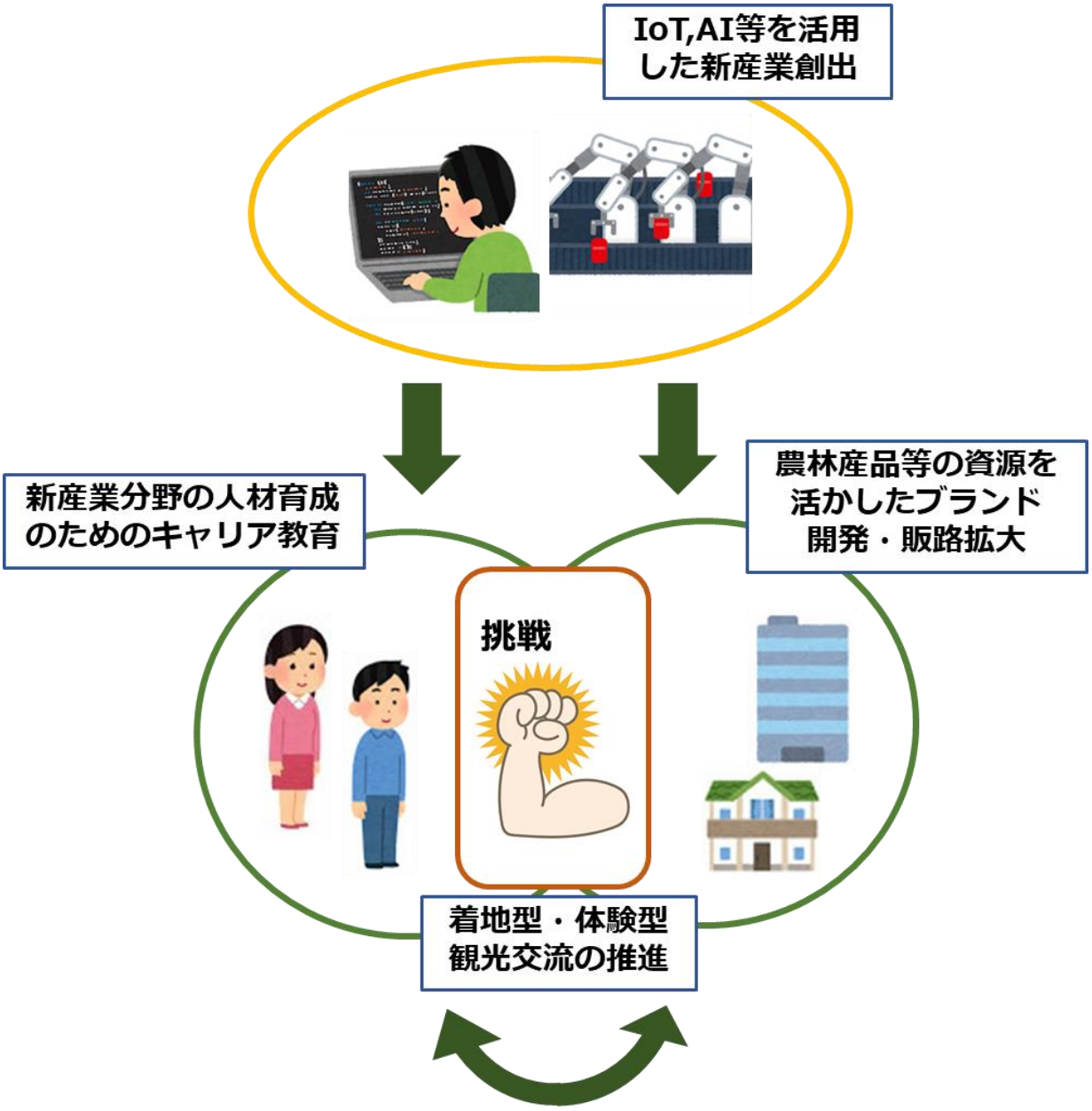
◇数値目標

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
町内従業者数（事業所単位）	7,202 人	8,000 人	7,284 人	8,000 人
観光入込客数	51 万人	53 万人	47 万人	51 万人

◇ＳＤＧｓの推進

◉技術向上及びイノベーションの推進、生産活動や適切な雇用創出、起業を促します。
◉若者の就労促進、女性が働きやすい環境を創出します。
◉持続可能な産業化を促進するとともに、環境に配慮した技術等の導入を進めます。
◉雇用創出、文化振興・商品販促につながる持続可能な観光を振興します。

推進イメージ


IoT,AI等を活用した新産業創出
新産業分野の人材育成のためのキャリア教育
農林産品等の資源を活かしたブランド開発・販路拡大
挑戦
着地型・体験型観光交流の推進

施策１　ＩｏＴ、ＡＩ等を活用した新産業創出

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
ＩｏＴ、ＡＩ等を導入している企業数	－	－	－	２社
支援事業を通じた起業者数	－	－	０人	３人
本社機能を移転した企業数 （スモールビジネスを含む）	－	１社	０社	１社

◇施策の方向

グリーンテクノみたけなど工業団地を中心とした企業誘致により製造業の拠点を形成してきた御嵩町に若者が移住・定住したくなるように、工業団地に限らず全町的に、多様な雇用の場を充実します。

◇主な施策

施策１　新産業を担う人材の育成		
事　業	IT 人材育成事業	プログラミング教室のやオリジナルアプリ開発の支援のほか、学校の授業において外部講師による授業展開など、ICT、IoT 等を最大限に活用することができる人材を育成します。
施策２　企業と起業支援の強化		
事　業	企業誘致・企業支援等事業、起業者応援事業	成長産業の立地、企業誘致に対する奨励金制度や、移住就業者等に対する支援制度の充実を図ります。
その他主な事業 ・工業用地の開発可能性調査　・中小企業資金融資制度あっせん事業 ・商工会補助事業		

施策２　農林産品等の資源を活かしたブランド開発・販路拡大

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
新規就農者数	０人	１人	１人	２人
御嵩町特産品開発普及協議会の販売額	－	－	674 千円	1,348 千円

◇施策の方向

農産物等の資源を活かし、その付加価値を高める６次産業化と販売促進を進めることにより、新規就農の促進や農地の保全を図ります。

◇主な施策

施策１　地域の農業を支える人材の確保と育成			
	事　業	農業担い手育成推進事業	就農相談から営農定着、ドローン活用を含む機械化等、農業の担い手を総合的に支援します。
施策２　農業６次産業化の推進			
	事　業	農業６次産業化推進事業	継続的な事業運営を図るため、経営やマーケティング等の専門家による人材育成を促進します。
施策３　「みたけのええもん」をはじめとする特産品の販路拡大			
	事　業	特産品のインターネット販売導入事業	災害時に指令機能を十分に発揮し、防災情報ネットワークが充実した安心で安全な庁舎を整備します。
その他主な事業 ・集落営農組織活性化事業			

施策３　新産業分野の人材育成のためのキャリア教育

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
東濃高校生、東濃実業高校生の町内就職者数	－	－	13 人	20 人
工業団地における町内居住従業員率	21.0%	23.0%	22.2%	25.0%

◇施策の方向

高校生や大学生などの若者が御嵩町で就労することができ、企業側としても優れた人材を円滑に確保することができる環境を整えて、地域経済の活性化を図ります。

◇主な施策

施策１　「みたけ」で就労する人材の確保と育成		
事　業	地域課題解決型キャリア教育事業	高校における地域を学び場とした地域課題解決型のキャリア教育事業を展開し、高校生の地元就職に繋げます。
施策２　ICT 教育の推進		
事　業	ICT を活用した教育支援事業	各学校にタブレット端末等の導入を進めるとともに、先生への研修等を進めることで、より効果的に ICT の活用が進むよう支援します。
その他主な事業 ・IT 人材育成事業		

施策４　着地型・体験型観光交流の推進

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
御嶽宿わいわい館の入館者数	9,991 人	12,000 人	8,058 人	12,000 人
滞在型農業体験施設の宿泊者数	－	－	－	3,600 人

◇施策の方向

御嵩町の資源を掘り起こしながら着地型・体験型の観光プログラムを開発するとともに、積極的な観光ＰＲと誘客を強化します。

◇主な施策

施策１　大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした観光誘客		
事　業	「麒麟がくる」ゆかりの武将可児才蔵魅力発見事業	可児才蔵にちなんだ逸話などを学び観光できる機会として展示やイベント等を開催するなど、大河ドラマ「麒麟がくる」推進委員会等と相互に連携した観光誘客を進めます。
施策２　御嵩町史の語り部の育成		
事　業	戦国武将の語り部育成事業	御嵩町に縁のある可児才蔵や関わりの深い武将などについて学び、観光客に紹介することができる語り部の育成を推進します。
施策３　中山道の宿場町等の再生		
事　業	宿場町のにぎわい創出事業	中山道御嶽宿・伏見宿界隈において、歴史文化を活用した観光のほか、商業等を組み合わせた新しい宿場町の形成を図ります。
施策４　滞在型農業体験の推進		
事　業	滞在型農業体験施設活用事業	古民家改修施設を改修した滞在型農業体験施設を活用して、多様な農業体験や里山体験等の事業を展開します。
その他主な事業 ・観光プロモーション促進事業　・街並み保全事業 ・鬼岩公園環境整備事業		

基本目標４　みたけのレガシー創出を

目指す将来の姿

◉御嵩町の公式 SNS において注目される取組みが増えるとともに、多様な来訪者や関係人口が増えています。
◉地域と連携した学校教育、高等学校教育が充実して高校生等子ども達がいきいきと育っており、地域において若者も高齢者も積極的に社会参加しています。
◉多様な関係人口が増え、住民ときずなを深めたり一緒に活動しており、それぞれの地域が住民や関係人口により賑わっています。

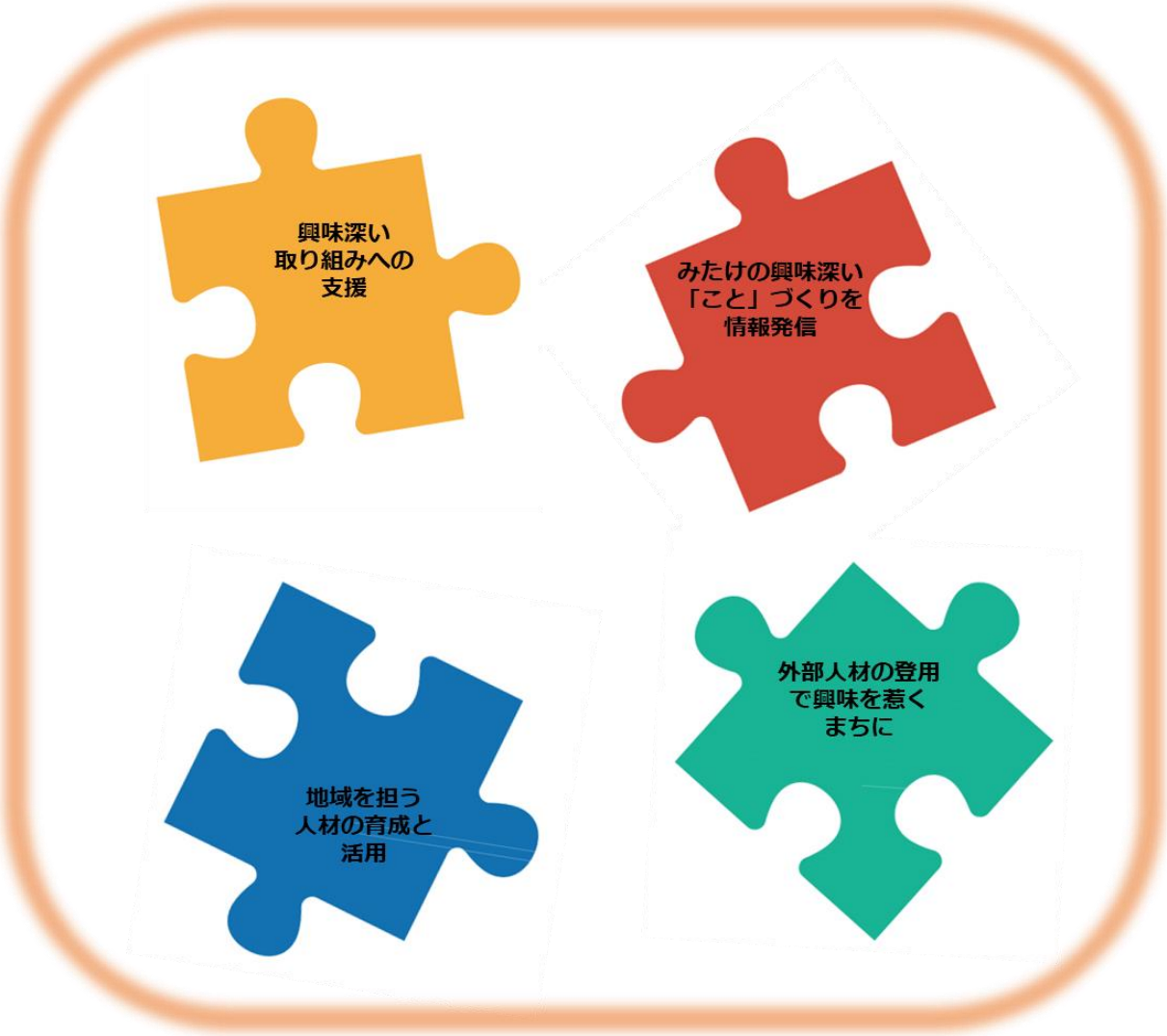
◇数値目標

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期基準値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
郷土を誇れると思う人の割合	18.9%	23.3%以上	25.7%	30.0%

◇ＳＤＧｓの推進

◉多文化共生を進めるとともに、各種団体や、外国人材や他地域の人材が活躍できる環境を整えます。
◉各種団体や他地域の人材が町内でいきいきと活動できるような場づくりを行います。
◉行政と地域住民、企業、外部人材など様々な主体が協働してまちづくりに取り組んでいます。

推進イメージ



みたけのレガシー

施策１　興味深い取組みへの支援

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期基準値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
支援事業によるクラウドファンディング案件公開件数	－	－	３件	９件

◇施策の方向

ユニークな発想に基づく活用やビジネスを支援する場として、御嵩町のイメージアップや情報発信力を強化して、交流人口や関係人口を創出します。

◇主な施策

施策１　夢の実現を目指す、活力ある団体活動への支援		
事　業	クラウドファンディング支援事業	クラウドファンディングのノウハウを活かし、専用サイトへ申請する前段階で意思の伝え方などのレクチャーを行うことで、町民の夢を形にするお手伝いをします。
その他主な事業 ・まちづくり推進支援事業　　・ドローン活用人材育成事業		

施策２　みたけの興味深い「こと」づくりを情報発信

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期実績値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
町ＳＮＳのフォロワー数	－	－	3,020 ｶｳﾝﾄ	4,000 ｶｳﾝﾄ
町が導入したアプリのダウンロード数	－	－	9,624 件	13,000 件

◇施策の方向

新庁舎を交流の場とするとともに、外国人材との交流や多文化共生を進め、みたけを情報発信する人々の拡大を図り、“きずな”づくりを進めます。

◇主な施策

施策１　みたけの「シンボル」の形成		
事　業	多世代交流の場としての新庁舎整備	安心・安全な庁舎はもちろんのこと、多様な町民活動、多世代交流などのまちづくりに貢献する庁舎整備を推進します。
施策２　外国人材との積極的な交流の推進		
事　業	多文化共生のまちづくり推進事業	外国人の居住者や観光客等との食や街道をテーマとした交流を推進することで、外国人材の地域への参加を促進し、外国人材との相互理解を深めます。
施策３　みたけの情報発信者の“つなぎ”		
事　業	みんなでみたけのインフルエンサー事業	行政情報の発信とともに、町民や「みたけに興味のある人」が自ら積極的に御嵩町の情報発信する「みたフルエンサー」の拡大を図ります。
その他主な事業 ・ゴルフ場を経由した情報発信事業		

施策３　地域を担う人材の育成と活用

◇ＫＰＩ

	基準値（2014 年度）	第１期目標値（2019 年度）	第２期実績値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
学校教育施策に対する満足率	14.5 %	20.0 %	17.3 %	20.0 %
「げんきボランティア 65」登録者数	－	－	306 人	380 人

◇施策の方向

学校と地域が連携して「ふるさと教育」やキャリア教育、外国語教育等を充実して若い人材を育成するとともに、高齢者の活躍を促進して地域の持続性を高めます。

◇主な施策

施策１　地域に根差したふるさと教育の充実			
	事　業	地域学校協働活動事業	地域で学校行事や施設管理、教育等に主体的に携わるとともに、児童生徒の地域活動への参加の拡大を図ります。
施策２　グローバル社会に対応した教育の充実			
	事　業	外国語教育等推進事業	外国語指導助手（ALT）、地元高校や企業等との連携により、外国語でのコミュニケーション能力の向上に主眼を置いた外国語教育を展開します。
施策３　高齢者の経験や知識を活かした地域活力の創出			
	事　業	地域の支え合いボランティアポイント事業	介護予防、日常生活の支援のボランティアを行った高齢者に対してポイントを付与する制度「げんきボランティア 65」をより一層推進し、高齢者の地域での活躍を促進します。
その他主な事業 ・コミュニティスクール推進事業 ・大学のサテライト研究室・ゼミの誘致			

施策４　外部人材の登用で興味を惹くまちに

◇ＫＰＩ

	基準値 （2014 年度）	第１期目標値 （2019 年度）	第２期実績値 （2018 年度）	目標値 （2024 年度）
外部人材による講座の参加者数（5 年間累計）	－	－	－	2,000 人

◇施策の方向

御嵩町において「ひと・もの・ことの縁結び」を進めるために、外部人材を町民と結び、新たな活動やビジネスを創出していく関係人口を創出します。

◇主な施策

施策１　外部人材が持つスキル・ノウハウの町民への伝達			
	事　業	外部人材招聘事業	あらゆる分野において、外部の人材による講座・研修、体験機会を設けて、町民がスキルやノウハウを習得する機会を提供します。
施策２　外部人材を関係人口に			
	事　業	外部人材の自主事業支援事業	講師やインストラクターとして招聘した外部人材による御嵩町における新たな活動やビジネスに際して、その試行や推進を支援します。